

コメントライナー

第6642号

2019年2月7日(木)

◎違和感満載の言い回し

言の葉OFFICEかのん代表 川邊 暁美

◆収まりわるい「一番の最低」

昨年の新語・流行語大賞では平昌五輪女子カーリング・チームの「そだねー」が年間大賞。トップ10には「災害級の暑さ」や「#Me Too」などが選ばれた。その年の社会現象などが反映された言葉から、なるほどそんな年であったと一年を振り返る方も多いことだろう。言葉は世につれ…と思う一方で、放送などで使われる言葉遣いに首をかしげることもある。

「きょうは、今シーズン一番の最低気温でした」。明け方の最低気温がこの冬で最も低かったと言っているのだが、「一番の最低」と続くと、言葉の意味が重複しているような違和感がある。「一番の」後に言葉が足りず、収まりの悪い印象もある。原文を生かして言い換えるとすれば、「今シーズンでは、一番冷え込み、最低気温も〇度を記録しました」など、少し丁寧伝えてみてはどうだろう。

◆なので、抵抗がありました

また、本来は「～なので」と、前の文章と結びついて理由を説明する表現に使われるはずの「なので」を独立した接続詞のように使う用法がまかり通っているのには閉口する。

たとえば、「私は好奇心が旺盛です。なので、いろいろなことにチャレンジしてみたいです」。

「私は好奇心が旺盛なので」、あるいは「旺盛ですので」という表現を選ばないのはなぜなのか。会話の中で、前の文章を一旦「～です」と言い切った後に接続詞を入れた方がテンポが良いと考えての工夫ならば、「だから」「したがって」「そのため」「そういうわけで」などを用いれば良い。

この接続詞的「なので」使いは、話し言葉のみだと思っていたが、最近は、エッセイや小説などでも目にするようになり、書き言葉としても市民権を得てきたようだ。もはや、違和感を持つ方が少数派なのかもしれない。

◆風通しの悪い服装でどうぞ

そういえば、セールスの電話で「私、(会社名)の〇〇と申しまして。川邊様のお宅でよろしかったですか」もよく聞く。「よろしかったですか」の誤用は指摘するまでもないが、「申します」と言い切らず、「申しまして」と途中で言い止める表現はぞんざいな印象で、抵抗を感じる。営業トークのマニュアルで推奨されているのだろうか。

最後に、これまで聞いた中で最大のヒット(?)をご紹介します。「きょうは風の冷たい一日になるでしょう。なので、風通しの悪い服装でお出掛けください」。「風通しの悪い」服装…初めて聞く言い回しであった。親切な一言ではあるのだが…。

(かわべ・あけみ)

◆監修◆ 内外情勢調査会

◆委託編集◆ 時事総合研究所

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 TEL: 03-6800-1111(代表)

この記事に関する問い合わせは、時事総研(03-3546-2384)まで

本稿の一切の情報について、無断転載・複写をお断りします。©時事通信社 2003